

農作物生育・技術情報8号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲 中苗:ななつぼし

●生育状況調査(9月1日現在 日高西部支所管内調査ほ)

区分	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	遅速 日数	備考 ※ ()は平年比
R4年	79.8	16.9	508.3	早2	不稔率 2.8% 黄化糊率 24.6%
平年値	75.4	17.3	514.5		
差	+4.4	-0.4	-6.2		

- (1) 9月上旬に行われた、刈り取り適期判定では、ゆめぴりか及びななつぼしで収穫可能な物が散見されました。必要に応じて、刈り取り判定を実施し、適期刈取に務めて下さい。
- (2) 一部倒伏しているところが見られます。他の稲と一緒に収穫すると品質低下を招くので別刈りをしましょう。また、降雨で水が滞水または土壌水分の高いほ場は、速やかに溝切り等を行い、土壌表面を乾燥させましょう。

2 主要野菜

作物名	生育状況	技術対策
トマト	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6段目収穫中。 ・芯腐れ果が見られる。 ・灰色かび病、すすかび病、ハモグリバエ類、アザミウマ類が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最低気温が12℃を下回る場合は早めにハウスを閉める。 ・かん水は少量多回数とし膨圧による裂果を防ぐ。 ・土壌還元消毒は9月15日までにを行う。
きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> ・8月中旬から収穫開始。 ・親づるを摘心中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病・べと病防除は、発生に応じて予防効果の高い薬剤と治療効果を伴う薬剤を使い分け、防除効果を高める。
ハウス軟白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月定植収穫中。 ・アザミウマ類、ハモグリバエ類、が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫が多発したハウスは計画的に土壌消毒を行う。
アスパラガス (ハウス立茎)	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点病の発生が見られる。 ・一部のほ場で穂先の曲がりや穂開きが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点病の防除を行う。 ・追肥は9月中旬を最終施用とし、収穫終了後の過度な生育を防止する。

3 畑作

(1) 秋まき小麦 品種：ゆめちから

・適期は種を心がけ、越冬前の生育を十分確保しましょう。

【越冬前目標生育量】葉数6枚以上、莖数1,500本/m²

・雑草対策は秋の除草剤散布が基本です。※防除ガイド参照

は種時期	は種量(10aあたり)	基肥(10aあたり)
9月13～16日(適期)	8kg～9kg	・窒素:4kg ・リン酸:14kg ・カリ:10kg
9月17～20日	10kg～11kg	

注)土質は火山性土

* 遅まきは、越冬性・起生期の分けつが劣るので避ける

(2) ばれいしょ

① 茎葉枯凋後、土中に長くおくと黒あざ病菌核が付着し商品価値を低下させます。

茎葉処理2週間後を目安に収穫を開始しましょう。

② 収穫作業は気温10℃以上の暖かい日に行い、収穫後は涼しいところに貯蔵し、いもの温度を下げましょう。

③ 降雨の影響を受けているほ場では腐敗が進むため、特にほ場での一時選別を丁寧に行い、収穫物は速やかに風乾させましょう。

④ 加工用ばれいしょなど、収穫の遅い品種は塊茎腐敗にも効果のある薬剤で引き続き防除を行いましょう。※防除ガイド参照

4 畜産

(1) 牧草生育状況(9月1日現在 日高西部支所管内調査ほ)

作物名	生育状況			遅速 日数	備考
	項目	R4年	平年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	71.6cm	75.8cm	早1	2番草の生育は平年並だが収穫作業は遅れている(収穫:遅8日)。

※最終番草刈取り後の草地には、堆肥やスラリー等の有機物を積極的に施用して、コスト低減を図りましょう。

(2) サイレージ用とうもろこし生育状況(9月1日現在 日高西部支所管内調査ほ)

作物名	生育状況			生育期節	遅速 日数	備考
	項目	R4年	平年			
サイレー 用とうもろこし	葉数 稈長	18.9枚 280.9cm	18.2枚 287.5cm	乳熟期 8/25	早2	生育は平年並。

※熟期を確認しましょう。 平年値(乳熟期:8/27、糊熟期:9/8、黄熟期:9/23)

※収穫適期は、黄熟期から完熟期(破碎処理等が必要)です。本年の生育は9月1日現在平年並で推移していますが、地域間格差や、は種時期等によるほ場間差も大きいいため、必ずほ場で熟度を確認して、適期に収穫しましょう。

5 農作業安全対策

余裕を持った作業計画で、事故防止に努めましょう!

作業予定を事前に確認しあい、適正な労働配分を考慮しましょう!